

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立長南中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（66人）

4. 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

（2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正数数の全体的な分布状況は、全国と比べて下位層がやや多く、上位層がやや少ない。
平均正答率（本校 65／泉佐野市 63／大阪府 68／全国 69.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p>○目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみることは概ねできている。</p> <p>1ーインタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する (87.9/87.5)</p>	<p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみることに課題がある。</p> <p>3三『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く (54.5/61.8)</p>
<p>○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>1四インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く (72.7/82.5)</p>	<p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。</p> <p>4一歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける） (72.7/82.5)</p>
<p>○事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみることは概ねできている。</p> <p>2一「落胆する」の意味として適切なものを選択する (89.4/91.1)</p>	<p>○古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることに課題がある。</p> <p>4二原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）(65.2/74.1)</p>
<p>○読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。</p> <p>3ーレポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。 (39.4/54.3)</p>	<p>○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>4三現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く (40.9/50.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	72.0	61.4	○	10.6
国語の勉強は大切だと思いますか	94.1	92.4		1.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	95.6	80.0	○	15.6
国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.1	88.7		2.4
国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	69.1	65.9		3.2
国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	73.5	63.9	◇	9.6
国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか。	80.9	77.2		3.7

○学習状況調査における上記の項目すべてにおいて全国を上回っていること、とりわけ「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」については全国を大きく上回る（10%以上）など評価できる。

○自分の考えを書く問題において、未回答率が1四では19.7%、3四では13.6%と全国平均を上回っている。問題の内容を正しく読みとった上で、自分の考えを書くとりくみをしていく必要がある。

○目的や場面に応じた内容の選択、意見や根拠など情報と情報との関係の理解、観点を明確にした文章を比較し表現の効果について考える問題においては、全国平均正答率を上回っており、文章の読み比べや場面に応じた適切なことばの選択において正答率が高い。授業で生徒が教科書の文章を声に出して読みあげていることの効果が出た可能性がある。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、下位層に多い。

平均正答率（本校 43／泉佐野市 44／大阪府 50／全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>○自然数の意味を理解することに課題がある。</p> <p>1 $-5, 0, 3, 4, 7, 9$の中から自然数を全て選ぶ (36.4/46.1)</p> <p>○数と整式の乗法の計算は概ねできている。</p> <p>2 $12(x/4 + y/6)$を計算する (81.8/80.5)</p> <p>○空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解することに課題がある。</p> <p>3 空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ (19.7/30.4)</p> <p>○反比例の意味を理解することに課題がある。</p> <p>4 yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ (37.9/42.8)</p> <p>○累積度数の意味を理解することに課題がある。</p> <p>5 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める (15.2/46.1)</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることは概ねできている。</p> <p>6(1) はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める (86.4/88.9)</p> <p>○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することに課題がある。</p> <p>6(3) はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する (19.7/40.9)</p>	<p>○複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>7(2) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する (28.8/33.6)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>8(3) グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する (33.3/42.8)</p> <p>○ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。</p> <p>9(1) 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する (34.8/32.1)</p> <p>○条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。</p> <p>9(2) 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く (30.3/37.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	48.5	56.7	◇	8.2
数学の勉強は大切だと思いますか	78.0	73.2		4.8
数学の授業の内容はよく分かりますか	66.1	75.4	◇	9.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.1	74.2		2.1

○学習状況調査における「数学の勉強は大切だと思いますか」において全国を上回っていることや、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」においてほぼ全国と同じ割合となっていることは評価できる。しかしながら、「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」においては大きく全国を下回っており課題である。

○空間における関係の把握や、累積度数の考え方の理解などに課題がある。

○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題がある。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中上位層が少なく、下位層に多い。
平均正答率（本校 42／泉佐野市 43／大阪府 45／全国 45.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p>○情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみることは概ねできている。</p> <p>1（1）ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (80.3/79.0)</p>	<p>○日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>7（2）図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する (34.8/34.7)</p>
<p>○情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>1（3）買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (31.8/49.8)</p>	<p>○社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>8（1）ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する (48.5/56.1)</p>
<p>○日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>3 バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する (28.8/41.2)</p>	<p>○社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>8（2）ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く (21.2/19.5)</p>
<p>○情報を正確に読み取ることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>5（1）ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する (45.5/56.0)</p>	<p>○疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>9（1）②与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる (19.7/20.9)</p>
<p>○「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみることは概ねできている。</p> <p>5（2）事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する (75.8/64.5)</p>	<p>○「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>9（2）メールの英文を依頼する表現に書き換える (25.8/29.0)</p>
<p>○日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>6 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する (36.4/35.9)</p>	<p>○日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみることに課題がある。</p> <p>10 学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く (4.5/7.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	44.1	51.9	◇	7.8
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.1	87.5	◇	6.6
英語の授業の内容はよく分かりますか	55.9	63.9	◇	8
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	38.2	30	◇	8.2
1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	88.2	78.7	◇	9.5
1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	92.7	78.2	○	14.5
1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	94.2	80.3	○	13.9
1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	80.9	63.8	○	17.1
1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	94.2	82.8	○	11.4
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	95.6	80.7	○	14.9
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	94.1	79.3	○	14.8

○日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみることに課題があり、全国を12.4%下回っている。

○「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみることは、全国を11.3%上回っており、正答率が高くなっている。

○学習状況調査より、「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（具体例略）」の肯定的意見の割合が全国を8.2%上回っている。これは、「英語の授業で英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的意見の割合が全国を6.6%上回っていることにも影響していると考えられる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○「朝食を毎日食べていますか」は、全国平均を7.4%下回っている。	○朝食を毎日食べていますか 〈83.8/91.2〉
	○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」は、全国平均を14.8%下回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか 〈63.2/78.0〉
	○「将来の夢や目標を持っていますか」は、全国平均を7.2%上回っている。	○将来の夢や目標を持っていますか 〈73.5/66.3〉
	○「自分には、よいところがあると思いますか」は、全国平均を6.5%下回っている。	○自分には、よいところがあると思いますか 〈73.5/80.0〉
	○「読書は好きですか」は、全国平均を20.4下回っている。	○読書は好きですか 〈45.6/66.0〉
【家庭学習の様子】	○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」は、1時間以上、2時間より少ないと答えた人は全国平均を5.5%下回っている。	○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 1時間以上、2時間より少ない 〈2.9/8.4〉
	○「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」は、3時間以上と答えた人は全国平均を11.8%上回って	○学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 3時間以上 〈22.1/10.3〉 全くしない 〈13.2/6.0〉

	<p>いる。しかし、全くしないと答えた人は7.2%上回っており、二極化が見られる。</p> <p>○「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」は、4時間以上と答えた人は全国平均を12.3%上回っている。しかし、全くしないと答えた人は14.0%上回っており、こちらも二極化が見られる。</p>	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）</p> <p style="text-align: right;">4時間以上 <19.1/6.8> 全くしない <26.5/12.5></p>
【学校生活の様子】	<p>○「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」は、全国平均を5.6%上回っている。</p> <p>○「国語の勉強は好きですか」は、全国平均を10.6%上回っている。</p> <p>○「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」は、全国平均を6.4%上まわっている。</p> <p>○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の本校の割合は、100%である。</p> <p>○「人が困っているときは、進んで助けていますか」は、全国平均を7.2%下回っている。</p>	<p>○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか</p> <p style="text-align: right;"><85.3/79.7></p> <p>○国語の勉強は好きですか</p> <p style="text-align: right;"><72.0/61.4></p> <p>○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか</p> <p style="text-align: right;"><78.0/71.6></p> <p>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</p> <p style="text-align: right;"><100/95.5></p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか</p> <p style="text-align: right;"><80.9/88.1></p>

本校の取組

◎これまでの取組

○研究授業を継続して行い、教職員全員で授業改革について研修・研究を行っています。2021年度より、「確かな学びを育む学校づくり」の実施校として授業改善に努めています。

- ・〈①「できた」を実感する全員参加の授業デザイン②主体的・対話的で深い学びの探求〉の2つを研究テーマに、研究授業を通じて多くの目で子どもの実態を見るとともに、授業の有効なしかけについて研究討議を行い、教職員間で共通理解を図っています。
- ・本年度は非認知能力を学力保障の土台に据え（学力の樹の根）、各教科で非認知能力を育みながら、「生きてはたらく学力」を身に付けた心豊かな子どもの育成をめざしています。
- ・年に2回相互参観月間を実施し、全教職員が、お互いの授業を参観するとりくみを行っています。相互参観シートに記入し、放課後に授業についての協議をしています。
- ・月に1度、教科会を実施し、PDCAシートに記入しながら、各教科での課題や重点的にとりくんでいることなどを話しています。

○全教職員が子どもたちの実態を把握し、個別の支援を含めたユニバーサルな授業をめざしています。また、教職員間で授業における共通認識をもてるように、長南中スタンダードを意識した授業にとりくんでいます。

- ・蛍光チョークによる授業のめあての明示 ・「授業のふりかえり」を実施
- ・本時の流れを黒板に明示 ・視覚支援をとり入れた「目で見てわかる」授業
- ・黒板周りに掲示物を貼らない等、集中しやすい環境のための教室整備 ・授業3分前の入室指導
- ・班やペア活動、ICT等をとりにれた思考を深めるための活動を実施

○授業の中で班活動を積極的にとり入れ、子どもたちの学力保障につなげています。

集団づくりの中心として班活動に重点を置いています。班活動を充実させることで、子どもたちのコミュニケーション力の向上や、ものごとに自主的にとりくむ力の向上をめざしています。また、授業でも班活動をとりにれており、子どもどうしの交流や言語活動の充実のための機会をつくっています。その他、授業展開に応じて、ペア学習などをとりいれ、充実した授業ができるよう努めています。

○学力向上にむけて、少人数指導・放課後学習・補充学習を効果的に実施しています。

- ・1年生への数学・英語の週1回の7時間目授業 ・放課後の学習会や長期休業中の補充学習会
- ・定期テスト前の放課後を利用した教科別質問日 ・手づくりの教材での朝の学習と毎日の宿題

○こ小中合同研を通じた校種間の連携・交流・授業規律の統一をめざしています。

長南校区では、はるかこども園・ひかりこども園・長南小学校・長南中学校で合同研修を年2回行っています。研修で異校種の教職員が交流することで、子どもたちの15年間の育ちを見ずえて、各学校園で大事にするポイントを確認しています。活発な意見交流と討論が行われ、長南校区でめざす子ども像についての認識を深めています。また、小中の学びを円滑に接続できるようにしていくことをめざし、各教科で9年間を見通した教育課程の編成していく。

◎これからのとりくみ

- ・市内統一アンケートや社会性測定用尺度等のアンケートを分析・検証し、授業改善に努めていきます。
- ・12月にも相互参観月間を実施し、全教職員が、お互いの授業を参観するとりくみを行います。
- ・引き続き班を集団づくりの中心に据え、支援教育の視点を活かしたユニバーサルな授業をめざします。
- ・小中連携した研究授業を実施しながら、「生きてはたらく学力」を身に付けた心豊かな子どもの育成をめざします。
- ・クロームブックを用いた、個別最適化の学びを実施していく。
- ・小中の円滑な学びをめざし、各教科で9年間を見通した教育課程の編成をしていく。